

会派活動報告書

令和5年4月30日

岡谷市議会議長

小松 壮 殿

会派名 やまびこ

代表者名 山崎 仁

令和3年度における岡谷市議会 会派「やまびこ」の活動について、下記のとおり報告いたします。

活動項目	活動内容及び活動の実績と効果
調査研究	<p>○活動内容</p> <p>10月11日～14日 会派視察 南九州（大分、宮崎、鹿児島）</p> <ul style="list-style-type: none">・大分県臼杵市「臼杵市の有機農業」・宮崎県日南市「日本一組みやすい自治体への挑戦」・宮崎県都農町「官民共創でデジタル化推進」・宮崎県都農町「一般社団法人ツノスポーツコミッション」・鹿児島県湧水町「国産材原木調達から加工」 <p>○活動の実績と効果</p> <p>・「臼杵市の有機農業」では市をあげて条例を制定するなど有機農業に積極的に取り組んでいる先進地である。有機農業には土づくりが大切なことから「土づくりセンター」の建設を行い通常3年～5年かかる堆肥を6カ月で製造し農業者に利益度外視の格安で提供して有機農業の拡大、サポートをしている。課題として天候に左右され安定供給は難しいが、岡谷市は農地作付面積も小さく簡単に比較できないが、行政も支援して有機野菜の栽培が広まれば良いと思いました。</p> <p>・「日本一組みやすい自治体への挑戦」では空洞化する商店街の再生について行政がタウンマネジメント体制の整備のために、民間人のマネージャーを登用する事で4年間で空き店舗を20店舗解消する目標を29店舗出店に成功した。街中商店街にIT企業の誘致の発想が素晴らしく、わが市の商店街の活性化にも大いに参考になった。</p> <p>・「官民共創でデジタル化推進」では行政が令和2年にデジタル・フレンドリー宣言をし、光回線整備として通信環境の整備、タブレット配布としては全町民がデジタル端末を手にする、ポータルサイトとしては町の情報・サービスを束ねるプラットフォームをつくる、サポートは全町民がデジタルを使いこなすの4つの施策に取り組んでいる。高齢者の方々も積極的に取り組んでいる事は意外と感じたが、全国的に少子高齢化やコロナ禍が問題になっている中、このような施策は今後、課題の解決への参考になる。</p>

	<p>・「一般社団法人ツノスポーツコミッション」では本来のスポーツコミッションとは異なる部分があり、町に若者が減り労働人口が不足しているためサッカーを通じて移住定住を促し、若い人たちが町の労働力の活力になっていく事を目指すもので、人口減少問題への解決策の一端になるのではないかと思います今後を活かしていきたい。</p> <p>・「国産材原木調達から加工」の取り組みについてはM E C株式会社＝三菱地所グループが中心となってSDG sの概念から立ち上げた総合林業事業会社で、新しい工法で生木を製材するC L T木材の開発をされ強度も強く都心部での木材利用も安易になり、伐る・使う・植えるという健全な森林環境を生み出し、持続可能な「まち」を創造することができる。また、巨大な工場はI O T（オートメーション化）が進んでおり、わが市での企業の人材不足解消のヒントにもなり活用できるのではないかと思います。</p>
研 修	<p>○活動内容</p> <p>○活動の実績と効果</p>
広 報	<p>○活動内容</p> <p>○活動の実績と効果</p>
広 聴	<p>○活動内容</p> <p>○活動の実績と効果</p>
要請・陳情	<p>○活動内容</p> <p>○活動の実績と効果</p>
そ の 他	<p>○活動内容</p> <p>○活動の実績と効果</p>

【活動実績】

※会派活動報告書は年度ごとにまとめ、年度当該年度の収支報告書の提出に合わせ議長に提出するものとする。

※議長は、提出された会派活動報告書を収支報告書と同様に公開するものとする。